

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第95号

2011年 6月

やどりき水源林ニュース

発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会

220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内

045-412-2255 <http://www.ktm.or.jp> E-mail:midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

梅雨時こそ水源林



ハナイカダ



フタリシズカ



今年、春先は寒い日が続き、桜の開花も遅れ、春らしい天気あまり恵まれないまま早くも梅雨入り、平年より12日、昨年より17日早いそうです。

梅雨入り最初の週末に訪れた時も一日中雨が続き、寄沢に架かる橋を洗うほど増水していました。

人間にはうとうしい梅雨の雨ですが、樹木にとっては成長する上で欠かすことが出来ません。たっぷり水を吸って、樹木はぐんぐん成長し、林床では雨に誘われてサワガニが歩き回り、フタリシズカが可憐な花を咲かせていました。雨にぬれ、ハナイカダやイロハカエデが独特の実を付けています。



イロハカエデ



サワガニ

ウツギの花咲く水源林

5月、6月はウツギの季節。ひとくちにウツギといってもいろいろな種類があります。ほとんどが、落葉低木～小高木と小振りで、多数の枝が株立し、葉は対生しているあたりに共通性があるようです。(バラ科のコゴメウツギは互生) 名前の由来は幹が中空であることから、「空木=ウツギ」という名前が付いたのだそうです。少ない投資(エネルギー)で、ある程度に強度があり、長い枝を作るには、パイプのような中空の構造の枝が最も優れているからとか。

一番早く咲くのはヒメウツギ、早い年では4月ごろから咲いており、この時期花は終わっていて見ることはできませんでした。次に咲くのはマルバウツギなど、そして最後にウツギが花を咲かせます。6月初めに訪れた時、ウツギはほとんどがつぼみ状態で、1株だけ花をつけていました。6月中旬には見ごろになると思います。



花は完全に開き、雄しべの花糸に歯がなく、すっきり伸びる。

マルバウツギ(ユキノシタ科ウツギ属)

葉は丸みを帯び、特に花の下の葉は茎を抱く。



花はうつむき加減に半開きで咲く。雄しべの花糸に2歯があり段状になる。

ウツギ(ユキノシタ科ウツギ属)

葉は細長く、先がとがる。



ガクウツギ(ユキノシタ科アジサイ属)

ガクアジサイと違い葉は細長い。



コゴメウツギ(バラ科コゴメウツギ属)

葉は互生し、縁に粗い鋸歯がある。



ニシキウツギ(スイカズラ科タニウツギ属)

花の色は、淡黄白色から紅色に変る。

梅雨の晴れ間のパートナー活動

6月4日のJX 日鉱日石エネルギー株の活動を紹介します。



間伐作業に汗を流します



インストラクターの案内で自然観察



子供たちは広場でクラフト体験

6月のトピックス

さまざまなウツギの花が迎えてくれます。中でも本家「ウツギ」が見頃です。ヤマボウシが白い花をつけ(写真)、オオルリやホトトギスなどの夏鳥が訪れ、沢からはカジカガエルの鳴き声が聞こえ、生命感あふれる季節です。



7月の水源林

水生生物観察や水遊びに絶好な季節を迎えます。定例観察会でも水生生物観察を行いますので、是非お越しください。

